

海外取引における事前契約と知的財産の保全支援

大洋潜水

(鳥取県)

平成11年創業の個人事業。大阪の卸業者からの発注によるダイビングスーツの製造を行っているが、中国・韓国製とは一線を画した品質・機能性により沖縄等でのレジャー向けスーツの需要が増加している。特に立体裁断による「動きやすいスーツ」が売りとなっている。自社での直販、ロシアとの取引についても前向きに取り組んでいるところである。

1. 相談のきっかけ

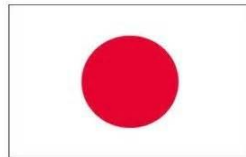
- ・昨年よりロシアへの輸出について進めていたが、急遽、輸出先の会社社長が視察に来日することになり、対応に不安があることから、チラス等で知っていたよろず支援拠点に連絡をいただいた。
- ・コーディネーター、サブコーディネーターとも以前より面識があったことが相談のしやすさに繋がった。

2. 課題整理・分析

- ・ロシアの会社から来られる目的(表面的な目的と、裏に隠されている可能性のある目的)について整理を行う。
- ・当社の強み、知的財産について整理を行う。
- ・今回の機会を輸出のチャンスととらえた対応を行う。

3. 解決策の提案

- ・知的財産については鳥取県産業振興機構・知的所有権センターの知財プロデューサーの支援により契約書を作成。
- ・通訳を鳥取県産業振興機構・国際ビジネスセンターのロシア人スタッフに依頼。
- ・サブコーディネーターを交え、今後5年間の取引を前提とした契約を締結し、視察を開始した。



4. 成果

- ・視察に訪れる機会は「知的財産流出の懸念」と「輸出取引契約締結のチャンス」の両方として捉え、よろず支援拠点へ相談いただいたことにより、産業振興機構と連携した支援策をとることができた。
- ・今回の視察はダイビングスーツの取引を前提とした、①修理技術、修理用機械と材料の調達ルートの確保②視察期間中にサンプル作成、着心地のテストが主目的であり、スムーズに視察が行われている。
- ・視察終了(12/9)までの間に、具体的な発注量、発注時期についても契約がなされるよう期待するところである。

